



「岳童太鼓」の演奏が大人気

「チケットはなかとね??」

長崎祭典の成功へ、賑やかに街頭宣伝

♪開幕まで

あと**46**日



26日午後2時過ぎ、「太鼓が鳴ったらすぐ『チケットはなかとね』と、お客さんが駆け寄ってきた」と事務局に電話が・・・日本のうたごえ祭典 in 長崎の大宣伝をやる準備を始めた直後でした。祭典に出演する岳童太鼓のみなさん（10月16日アリーナ「大音楽会」で出演）が、事前に「海のお囃子」や「稔りの御神楽」などの演奏をしていたのです。

子ども達の元気な太鼓の音が響くと、行き交う市民の顔がいっせいに注目します。足を止め、チラシのうけとりも上々です。つづいて、「被爆65年を記念して、長崎で初めて開かれるうたごえの全国祭典」「太鼓あり、踊りあり、大合唱ありのすばらしい企画です」と、田中實・運営委員長の張りのある声が響きました。

炎天下でしたが、雨乞いの「豊年太鼓」の演奏が終わるころには効果てきめん、雲ゆきがあやしくなり、ポツリポツリと小雨も。「子どもたちの太鼓のおかげで、日差しも強くなく助かった」の声が聞こえました。

集まった20数名の実行委員会メンバーが、♪一本のペンで、♪青い空はの2曲を演奏。一時間余で1300枚のチラシを配りきり、にぎやかな宣伝行動となりました。宣伝が終わるのを待って「今からチケット売りに行くけんね」と勇んでかける人いて、おおいに元気の出る宣伝行動となりました。（写真）

9月は正念場！何としても目標を

8月27日、長崎市内で第10回実行委員会が開かれました。千々岩秀夫実行委員長も多忙な中を参加、暑い中での日々の労をねぎらっていただきました。

討論では、遅れ気味のアリーナ大音楽会のチケット普及に意見が集中。「3枚、5枚といかに多くの人にチケットを預かってもらい、力を貸してもらえるかがカギ」「諸団体は自らの課題も抱えて多忙。長崎祭典成功の意義を繰り返し訴え、点検もきちんとし、協力をお願いしよう」などと、積極的な発言が相次ぎました。

全国からの期待の広がりも報告され、「9月はまさに正念場。宣伝をひろげ、多くの人々の行動で、何としても目標をやり上げましょう」との運営委員長のまとめを確認。目標を達成して10月1日の実行委員会を迎えようとの思いを一つにしました。

3枚・5枚と預かってもらって

じいちゃん、ばあちゃんが 楽しみにしてくれています

「岳童太鼓」のメンバーとして、「稔りの御神楽」に出演します。ラグビーの師匠であるじいちゃんと、孫守り上手のばあちゃんは、晴れの舞台になるアリーナでの大音楽会で、ほくらの太鼓や「御神楽」（みかぐら）を楽しみに、首を長くして待っていてくれています。



26日は、2時から4時過ぎまでの久々の大道パフォーマンスでした。うたごえ祭典の宣伝の応援です。

通行人の足を止めることもでき、チラシ配りもはかどりました。途中、4〜5歳位の男の子を連れた女性が立ち止り、最後までずっと一緒にみてくれていて、とくに男の子は釘付けでした。女性は師匠の教え子だったそうです。（石田圭祐・中2、写真右端）

入院中の小笠原さんから手紙が届きました 「ケガの功名と 私のチケット作戦」

思いがけない交通事故から、もう40日がたちました。対向車が私に迫ってくる。瞬間にバイクのハンドルを手放し、車を両手で押さえ飛ばされまいとがんばりましたが、やっぱり飛ばされていました。



その情景が入院中の長い夜を駆け回ります。チケットがようやく届き始めた矢先だったので、しばらくは骨折の痛みと、チケット普及のことで便秘になっていました。この間たくさんの人たちに励ましとお見舞いをいただき、おかげさまでケガも順調に回復しています。9月5日の演奏交流会には、何としても出演するつもりです。

病床では、ケガの功名でしょうか、チケットをどう広げるか、いろいろと考えることができました。以下、私のチケット普及作戦です。

- ① 年賀はがきからの名簿。近所でも思い切って20人の名簿を作りました(70軒の団地です)。長与町で開いたうたう会参加者からの名簿など、約100人です。
- ② 独自の手紙を書いて同封し、郵送したり、妻や長与の人に頼んで届けています。8月24日現在、51人に92枚を届けました。
- ③ その後、名簿も増えて、50人位は残っています。直接会って訴えた方がよい人たちなので、退院後になるかもしれません。まだ、換金したわけではないのですが、100枚の普及目標をめざしたいと思っています。

「2010年日本のうたごえ祭典in長崎」

企画



長崎のうたごえ
演奏交流会

9月5日(日) 13時半

長与町民文化ホール

出演団体紹介(順不同)

医系コーラス「虹」、うたごえサークル「フレンド」、We love「こうばる」、かあさんコーラス樹、諫早うたごえの会、年金者組合大村支部、としわ会、「干潟の海の詩」合唱団、一本のペンで合唱団、記念樹、合唱団ながせん、新婦人コーラス「花の輪」、長崎センター合唱団、夜の小径のクローバーズ、花丘ふれあいうたう会、新婦人きんぴら班、和太鼓合同「御神楽」、フリーダム

長崎祭典をつくる人！ 応援する人！支える人！

五島ふれあい診療所看護師

中里 博美さん(五島市より)



当) (10月16日・県立総合体育館「アリーナ」がに「で総合司会を担当)

なんと！大音楽会の司会をやらせていただくことになりました。私事でコーラス「花の輪」をしばらくお休みさせてもらっています。「長崎祭典の前には復帰しよう」と思っていたのですが、昨年7月から五島への単身赴任となり復帰が遠のいてしまいました。うたごえ新聞で祭典が近づいていることを感じながら、「長崎のみなさんは忙しい日々を送っているだろうな」と思いをはせていました。当日は裏方でお手伝いできればと思っていたところへ司会のお話があり「ええっ！そんな大役を私が？」と驚いてしまいました。考えただけでドキドキしますが、「二度と経験できないことをやらせていただくなんて幸せ！」と前向きに考え、全国から参加されたみなさんといっしょに、祭典を盛り上げたいと思っています。今年、広島市の平和式典に潘基文国連事務総長や核大国の米・仏・英の代表が初参加するなど、核兵器廃絶に向けて大きな前進がありました。被爆65年の今年、長崎で開かれる祭典が果たす役割も大きいと思います。海に向こうの五島でも、祭典の日までカウントダウンして気持ちを盛り上げ、仲間を引き連れて参加しようと思っています。

「グレート・ジャーニー」3部作
池辺晋一郎先生の練習会です

9月10日(金・6時半)・ブリックホール2階リハ室